>西明彦
①「昆虫に作用する生態相関化学物質の研究」
昆虫が持つ匂い (いや臭いかな ?)の化学的探索。
②街径からの脱出
>南風原朝彦
①「無菌培養したマカラスムギ子葉鞘先端における
インドール酢酸の生合成」
②かけがえのない 4年間だった。様々な事を初めて
知り,やってみた。様々な人が様々な個性と思いで
接してくれた。その中で,自分の弱さ,汚なさを見
ておののき,反発した。時には自分の小さな光に嬉
び,安堵した。生きる厳しさを諭してくれた先生が
いたo明るい暖かしヽ心をくれた友がいた。両親 ,先
生 ,先輩,友人,生協の人達,学務の人達 ,清掃係
の人達,風呂屋のおじさん,食堂のおばさん……た
くさんの人に助けられ,支えられた学牛生活だった。
山ほど言いたい事はあるけれど,最後の言葉はやっ
ぱりこれしかない。ほんとに,みなさん,ありがと
う。
レ土江健雄
①「広島県緑化センターにおける植物群落の把握」
広島県安芸町福田に建設中の緑化公園,緑化センタ
ーの現存植生図を作成し,地形との関係を明らかに
する。アカマツ林 (二次林)の復元地であり,アカ
マツの年齢とその下ばえの変化をもっとくわしくや
ればよかったと思う。
②大学生活は,やっぱリクラプをしなければいけな
いと思っている。学問を深める場であることはもち
ろんであるが,社会人として巣立つ前の 4年間,色
々な人間関係を経験しておくべきだと思う。自分は
野球をやっていたが,大学 4年を通して一番印象に
残っているのが, リーグ優勝である。あの広島市民
球場でプレーができたことも忘れられない。先輩達,
後輩達とのつき合いは,社会に出てからも,役に立
つと思う。自分が意識しなくても,そのようにふる
まうことができるように思う。
)田中淳介
①「脂質三分子膜の相転移とその生理的意義」
生体膜のモデルとして,この脂質三分子膜の構造 ,
機能の研究であるが:実際には,この題名どおりの
論文は全然できていない。 1年間で,まともな研究 ,
結果を出すのは無理ではないか。
)江本雅裕
①「東広島市西条盆地の地盤地質について」
砂と泥の分布を高度別平面断面図に載せる。
広島大学総合科学部報『 飛翔 』Na15
② 3年の秋に,与論島に泳ぎに行ったこと。 2週間
たっぷり楽しんだ。海の水が,澄んでいて,写真も
たくさんとれた。島のまわりはサンゴのリーフが囲
んでいて,波静か811月なので人も少ない。広い砂
浜で風に吹かれていると,時間も空も海も‐諸にな
ってしまう。頭がボーッとしてきて,つい寝ころん
だり,浜の砂はサンゴや有孔虫のかけらでできてい
るので,さらっとしていてクリーム色。やがて日が
暮れていく。夜の海は,不気味。静かに星をながめ
ていても,風の音と波の音 ,それに暗やみが近づい
てくるみたいで落ち着かない。昼見えた人家や舟や
漁師たちもどこかへ行ってしまった。夜は,大自然
の中に一匹の野生動物となってもどって行く時なの
だ〃
>瀬尾佳代
①「広島県における気温の逆転の気候学的研究」
気温の逆転の発現傾向及び,大気汚染との関係。
②我々は,総合科学部が発足してから3回目の卒業
生となるわけですが,まだ現在の段階では,総合科
学部であって総合科学部でないような気がします。
講義にしても各分野ごとにバラバラで,横のつなが
りが乏しいものとなっているのが最大の原因と思わ
れます。 1・ 203年生は,このようなことをなくすよ
う努力し,真の総合科学部となることを希望します。
レ野□勇
①「 カンアオイ属植物の成分に関する研究」
カンアオイの精油成分を明らかにすることを目的と
し,その過程で抽出法,分離法 (カラムクロマトグ
ラフィー,ガスクロマトグラフィー),同定法 (マ
ススペクトル法 ,赤外スペクトル法 ,紫外スペクト
ル法)などを修得する。
② l年目,ただひたすらクラブに打ち込み,他の事
を考えることができなかった。従って講義の出席率
は非常に低かった。 2年目,ひとつ先輩となり,少
しは楽になるかと思ったが,上からおさえられ下か
らはつき上げられる哀しき2回生。講義の方は毎日
殆んど全部出席していた。 3年目,クラブでは幹部
となり,部の顔として常に 150%ぐらいの力でやっ
てきた。講義も殆んど出席。 4年目,時の流れの速
さに驚くばかり。思えばよくクラブ (空手道部)を
続けて行けたと思う。回りは皆自分より10～20"も
大きい者ばかり。だが師範が言われた。・器用より
も努力"と。精一杯やってきた。近く大学を離れる
にあたり寂しさがこみ上げてくる。
レ仙波裕子
-10-

①「酵素免疫反応を用いる化学計測」
試料中のイムノグロプリン量の測定が目的であったが,計測法の研究のみで終わりそう。 ②現在は,卒論のことのみに追われているが,4年間で一番勉強になったと思えるのは,ク ラブでの経験かも知れない。楽しいことや苦しいことをみんなで経験できたし,自分はなっていないなあと反省させられた。素直に自分を出せるように,これから頑張りたい。
>前延国治
①「金属ポルフィリンによる光エネルギーの化学的変換」

中心金属の違いによるTPPの光電気量子収率(′) の変化,12 gaSの付加による夕の変化,またそれらの電気的特性について行ったが,光電池の長期的使用の為の処理が工夫できなかった。
②印象に残っている事と言えば,昨年全日本の合宿に於て仲間が2人
ˆ×

‘ S‰» —•

• Œ @˜. ‚ ÄŠ Ô 2 • l ˆ ó’ ‰ 6 Ø   y H ê• Œ † @  t ð Î   ñ ’ Á S • È * ¸   � ‚ ê ‚ êˆ × ‚ « • ‚ Ä a  — Ê Ø Ï [á 6 • M Œ ¾ ‰ » “ I ‚ ª ˆ × ‡ D ˆ × ˆ ó ž A � Ø › ° ‚ Á• Œ † @ r Ø ø € ‚ ¢ 2•l ‚Æ

その広島大学総合科学部報『 飛翔 』NQ15 4
「卒論題目紹介」
= 氏名論文題目名率氏名論文題目名
地域″　　　″　″″　　　″　″〃　　　　″″　″
″
″
″″　″″　″　　　
″
中井良幸
飯田佳子
石塚幸雄
伊藤教代
学頭一成
河本隆
嘲
魯
斎藤節子
高井一範
多々良陽子
冨田晃次
嚇
石松繁
井上淳子
大…山茂之
小谷千弘
糟谷敦子
楠木清美
待遇表現の研究
―現代学生の言語生活調査を通
して一
山代巴の創作活動とその作品研究
―「荷車の歌」を中心に一
地域福祉の研究
在日朝鮮人被爆者問題に関する
考察
―ある被爆婦人の戦後過程を中
心に一
後期ゴシックとヤン・ ファン・ ア
イクの芸術
堀辰雄研究
漢字習得の経路と要因に関する研
究
毛沢東の人間観
―整風運動の展開から一
Die Aufmbe des Diぬ ters bei R←
berしヽは il
作家の課題―ローベルト・ ムー
ジールの場合
Salll Be1lowにおける疎外とシュ
リメーゼル (Sぬlim21ness)
性について
アンデス農民の変容過程
フィリピン農村社会と土地制度一
考
―技術協力の周辺から一
パンドラ神話
星の神話・ 伝承に関する考察
ヨーロッパ人宣教師の日本観
―フロイスの「 日本史」を中心
に一
シュルレアリスムと詩の現在
16～ 18世紀イングランドの社会構
造
― ピーター・ ラズレット
「失われた世界」を中心に
丹後機業の研究
アロイス・本観協�‖A�-研�Mロ神紜�Bﾘ,ﾀD�菜4ぬrﾉ土噂�容サ��-技{X・グPH派ﾗ,�研�`るヶ�16�ﾆヤ�ﾘﾀヤ�ﾘﾀ
末廊ム�機｠業ムシ��ﾘﾗﾄ0 紀5ｰ構教
淳ムD�-I�歎 r�ｴH%仂`つv r�ｹを u�つ@協
O¥�R¥��`���鴻X rﾉ末錬M｢
ﾐ/` 研�M 猖ド�-%ロ
D�mﾝｧ`を
��,�
ﾘ5�$-鴻Yvb�(ﾓMﾉ �` ケ�-変ぢ鰭bH7倹�ﾐ/`
�土
負!�企¥� ��HﾛX5�@餅ケ�ﾘ*研�D�DﾓAﾐﾐ&H檣1�ﾆ�脱Hd�緯�iiТ！研�@��対ヨｸ$ﾝ$ﾕч8ﾃﾙViiЩﾖFP
�D�困研P��菜0pA�MXﾊE�АHﾓJ¥�をD�mgｸ"Hﾎ｣業I�Ha�!ﾞ篠P(_8ｼd�R�prﾗT��5D� �prﾕ研P���D�Dv$¥､"Hｸc業G4HA���､Pd@Hﾛｵﾏ D��M�(ﾓ貼��‾rﾝ㏍P≧$おﾊBTf悼F拷程叢FD�財� �ﾘﾘ6異P�ﾜ､ﾐ
D�-ﾆ苣qI}黒��ﾊBT究8ｼapFpHﾚ柏 � iiЭ�｢

広島大学総合科学部報『 飛翔 』No 15
も
=
氏名論文題目名 =
氏名論文題目名
地域
社会〃　　　
″″　″　　　
″″″″″″″″〃″″　″　　　″　　　〃　″　　　″　″
六郷寛
森一晃
芦田真吾
伊東巧
久保田博
酒井英史
佐内敬治
新野寛
田中孝典
相浦衛
安藤正義
井坂竹志
井手正親
井戸裕子
影保敦
大西五己
小川秀樹
葛城健志
国弘正
桑原樹郎
白石裕之
玉井祥子
永山徹郎
藤則幸男
前村茂年
|
明治末期神社併合の地域的考察
一広島県を中心として一
ドイツ賠償問題
―アメリカの立場を中心にし
て一
エールリッヒ法社会学に関する
考察
ジョン・ ロック研究
「市民政府論」第 1篇による神と
所有権に関する考察
財政調整制度に関する一考察
「社会的分業」概念の検討
副題 :分業論の系譜・ 序説
自由民主党の成立とその構造
―近代化への可能性について一
人格概念についての一考察
全国地方都市財政統計比較
一地方財政の特徴と事例研究―
日本に於ける西洋建築の移植過程
の研究
「非同盟運動の現状分析」
―第 6回非同盟会議を中心に一
泉州綿織物業における下請制度
変動期における保守主義政治家
―S・ V・ パテールの研究―
社会現象としての流言に関する
考察
「海田湾埋立問題の法社会学的考
察」
マルクスにおける「大工業」理論
の成立過程の一考察
現代行政手続の一考察
内閣使節団の構想とその分析
―印パ分離独立への一過程―
「放送へのアクセスと関係法制の
諸問題」
極東委員会の組織と機能
1950,∞ 年代におけるアメリカの
産軍複合体制
「核家族化と老人間題」
地方都市における大型小売店舗進
出問題
一熊本市におけるダイエーの場
合一
「瀬戸内海地域開発と臨海部埋立
て」
農地改革における土地問題
社会
情報〃　　　″　″　　　〃　″〃　　　″　　　″　　　″　　　″　　　″　　　″
井原誠司
片岡喜美
姉
坂田省吾
坂根嘉典
正藤雅子
海面埋立にともなう漁業補償
関西民鉄の発達と展望
「環境アセスメント」に関する法
的考察
「 日本技術水準の再考」
―技術貿易を通して一
人工知能研究における発見的探索
の問題
―オセロ・ ゲームの場合―
言語モデリングにおける代理性強
化の機能に関する研究
選択行動のモデルの構成
「甘え」を中心とした対人認知様
式についての基礎的研究
自然数論の形式的展開
語の認知におけるラテラリティに
関する研究
―左右各視野に呈示された語の
熟知性の効果一
大腸菌RNA合成酵素の精製
ラットにおける時間弁別
―DRLLスケジュールを用い
て一
線画によるFacial EttЮ simに
関する研究
ラットの弁別行動に及ぼす海馬損
傷の効果
ラットの学習に及ぼす嫌悪刺激の
効果
映画の時間体験 Movie Time型
一Non―M∝ie Time型に関する
一実験
マイクロコンピュータのインタプ
リタについての研究
Ey銀の irttbifion thOry lこ関
する一実験的検討
アキレス腱反射と膝蓋腱反射との
関連性に関する生理学的研究
軟体動物アカニシの□器と心臓に
対する神経支配
ディジタル信号処理における実数
ディスクリート変換の研究
LSIテスタ用翻訳プログラムに
関する研究
小集団成員の社会的動機からみた
リーダーシップ条件効果に関する
基礎的研究
-13-

広島大学総合科学部報『 飛翔 』No15
=
氏名論文題目名 = 氏名論文題目名
情報
環境
〃
〃″　　　　″　″″　″
平本光
藤野常信
¨
古市雅之
宗像景紀
横山朗
横山博司
吉田和子
田中克敏
豊内正治
水野博之
江本雅裕
卿
柏原俊司
木原伸雄
瀬尾佳代
「 関数近似プログラムの開発」
(与えられたサンプル点を連続か
つなめらかにつなぐ曲線のグラフ
ィック)
外国語の最適な学び方
TL atim of histami“ m雌
副 a retractor of R_Tb―
mastarll
アカニシ歯舌牽引筋におけるヒス
タミンの作用
恐怖喚起コミュニケーションが態
度変客に及ぼす効果
視覚的情報および言語的情報が印
象形成に与える影響について
企業における「高学慶化」・ 「高
年齢化」に関する従業員および学
生の意識
不安に関する研究
一嫌悪刺激到来の予測可能性と
情動に関する仮説の検討一
LSエレイアウトパターンの縮」ヽ
化プログラム
ステロイド水酸化電子伝達系にお
けるNADPH=チトクロム P一
451D還元酵素の反応機構
傾斜地における水収支
―降雨と浸透量について一
米の乾燥・ 貯蔵条件と貯蔵穀物害
虫の発生・ 発育に関する生態学的
研究
東広島市西条盆地の地盤地質につ
い1こ
「重金属の生物濃縮一水銀」
地すべり地の電気探査による防災
研究
膜系における光電荷分離の研究
広島県における気温の逆転の気候
環境″　　　″
|
仙波裕子
田中淳介
知念民雄
塚内芳巳
土江健雄
中村真弓
西明彦
西島俊彦
野□ 勇
野村和芳
醐彦
橋本淑子
藤井亮子
前延国治
横田峰雄
渡辺昭
学的研究
酵素免疫反応を用いる化学計測
脂質三分子膜の相転移とその生理
的意義
林野火災跡地における山地斜面の
侵蝕過程
―江田島の例 (1978年 6月 1日
～ 3日)一
植物根と微生物]ﾔﾑ`�erﾒ�｠ に
の
お根駅
お本 | 疉 � M 恐践 5 ｨ � - 響 ｠の 5 煕 @ ! ﾘ � [y $ � � 践おる真物横ﾅ � � $ ﾘ謡 � H ﾘ , ﾀ朴挟に) 蓮 $ ﾙ a � 牧真根 ･ � 2 � M 膜 (� � � 横 2 2 � M 争 D 熏ｪ 5 � 2 � � 横 5 ～ ! ﾙ � ク ～ H ﾙ u ヌ y $ ﾘ � X � P r ﾘﾝ � 仝 i m の 8 ! � s � r � 江ﾈ煢ﾟ 4 � S � M 伐本 q h � r ﾘ , ﾀ義 + ﾗ h � - 臨ﾚﾂ � ｸ ` 牧 � 本 v S ! 0 H ﾘ謡ﾍ � 高ﾌ悧究
混�ﾂY"木,� 噫るるるｴ � � ﾙ a �物の渡与 � A � r � H ﾘﾝ � J � r ﾘｻ � 伝 4 � 4 � M 意 4 � � M 教 C � � M 相混の相 � 混に災ｭ ｝ H ﾘ , ` る食
毎�8B�M囑[�M銘ﾅ8@$ﾙl防��M楽eｸ@�M�ｩ{･t�c $ﾙh近�rﾘﾗ� 刈究 ､ Q h @ 木 , �意 � r " M の � X @ � " M 程三 � X ﾚﾁ ｢ � c $ ﾘ , �酵三溺ｬ � H ﾙ h 境 ～ H ﾙ u � �駅位 @究
楽%ｸ�-悧銘
災
遊
� � d � M 駅 � 拭本 | 疆 � � M 恐践 5 ｡ 9 g � ｠ 災 5 � ﾙ � ー y r ﾘ , ､ 根 " P � � 高 � 酵災蓼 @ H ﾘ , ﾎ � Q " 痴ﾙ � 処 r ` H ) 一ﾂ @ ! ﾙ � 仝 h � � 選 < � d � M 災意 8 ｧ h @ M の : ぬ @地 ( � � � M 絹に酵而 i � ' ! ﾘﾕﾐ伝� 牧瀨 c F $ ﾘ用ﾎ � d � M 益 ､ 吹 ` $ ﾘｧ z 竏 � r ﾙﾉ酵義 (b � M 噫る渡（ m 毎 � u � � � ﾙ R ｨ � ы 駅 � � 酵学災 � B � M 意ﾋ � � M � _ � & �究臨ﾐ横4～Aﾙ�トh�践8ｸ��)'!ﾘ,ﾃMy`qﾙ�ーy)�酷`